

平成 26 年度水産研究成果情報

課題名: エツ資源回復方策検討調査

[背景・ねらい]

エツは日本では有明海にのみ生息する特産種と呼ばれる魚種である。筑後川における佐賀県流し刺網漁船による漁獲量は、平成 4～16 年には 32～45 トンあったが、平成 17 年以降、急激に減少し、近年では 2 トン前後となっている。

このため、佐賀県では、エツの資源回復に向けて必要な生物学的知見を得ることを目的として、六角川を中心として様々な調査研究を行っている。

平成 26 年度はエツの分布移動を調べるために、魚体に装着する標識の有効性について検討した。

[成果]

平成 26 年 3 月から平成 27 年 3 月に六角川河口域で、合計 1765 個体のエツに外部標識を施し放流を行った(図 1)。このうち 1677 個体にはリボンタグ(図 2a)を、88 個体にはダートタグ(図 2b)をそれぞれ装着した。その結果、これまでに合計 13 個体の標識個体があんこう網により再捕されたことから(図 3、表 1)、タグ標識は分布と移動を把握する手段として有効であると考えられた。

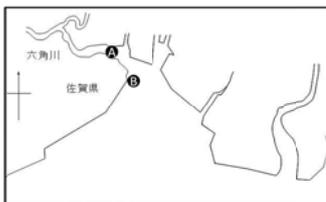


図 1 標識放流場所および再捕場所



図 2 リボンタグとダートタグ

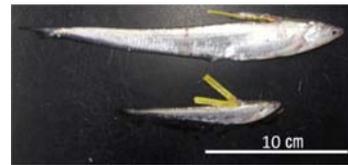


図 3 平成 26 年 4 月 30 日再捕個体

表 1 標識放流個体の再捕結果

放流日	放流場	水温(°C)	放流数	再捕日	再捕場	再捕数	標識種類	体長(mm)	再捕率(%)
2014/3/24	A	13.3	リボンタグ:200 ダートタグ:70	4/11(18日後)	A	3	リボン	—	リボンタグ:2.5 ダートタグ:1.4
				4/30(37日後)	B	2	リボン	113	
				5/2(39日後)	A	1	リボン	179	
				5/14(51日後)	B	1	リボン	173	
5/20	A	22.1	ダートタグ:18	再捕報告無し	—	—	—	0	
7/24	A	30.5	リボンタグ:195	7/25(1日後)	B	2	リボン	179, 207	1.0
7/25	B	29.6	リボンタグ:180	再捕報告無し	—	—	—	0	
2015/3/18	A	13.1	リボンタグ:1102	4/2(15日後)	A	2	リボン	174, 179	0.36
				4/3(16日後)	B	1	リボン	—	
				4/24(37日後)	A	1	リボン	160	

[課題・問題点]

六角川と筑後川での河川間交流の有無について明らかではない。

[今後の対応]

六角川および早津江川(筑後川の支流)河口域で、引き続き標識放流を行う。

[その他]

研究期間:平成 24 年～

研究担当者:資源研究担当 伊藤毅史

公表:H26 年日本水産学会(秋) 口頭発表